



廳舎落成記念號

發行所 田代村役場
電話 一〇〇
印刷 極度印刷所
鹿屋市北田町電話一二五

役場落成に際し感謝のことは

田代村長 上 田 政 吉

昨年十一月四日の夜、我村の自治行 築致したのであります。 改の總元締である役場が一瞬にして、 燄に歸したものであります。

數十年間我等の先輩有志が日夜して 營々として執務された由緒ある廳舎を 燒失し、誠に申譯もない次第でありま す。目下我國は經濟危機に直面し、特 に我村は農山村でありますので、其の 影響は一入深刻であり、一方新制中學 校建築問題、定時制高校の建築問題や 産業、交通その他本村開發計畫等實踐 すべき事共山積して居る折柄であり、 村民の皆さんに對してお詫の申し様も ないのであります。如何にも致方な ないものであります。緊急臨時 村會を招集し、役場建築問題を討議之 を可決しましたので、其の後諸般の準 備を整へ昨年十二月請負入札に付しま した所、根占町松田組の落札する所と なり、以來天候不良の爲工事意の如く 進展しなかつたのであります。同組 の熱心な努力によつて、予定通り去る 七月初旬竣工し、茲に本落成の式典 を舉行する事を得まして、誠に感謝感 激の至りに堪えません。

本廳舎は堅牢にして通風採光宜しく 加うるに輪奐の美を極め、僻邊の我村 には不似合の様であります。目下地 方分權主義は、益々強化され、町村自 治行政は日を追うて複雑多岐なる現 狀から推して、遠き將來を考慮して數

役場新築落成に當りて

田代村議會議長 柴 立 芳 文

鹿屋の旅館で、夜中に「役場が火事 だ」と聞いた時は、驚きの余り日本が 敗戦した時みたいになつてしまつた事 を憶えている。冷靜になつて始めて前 後案を考えたのである。

私は田代村煙草收納所の落成式場で 申したのであるが、我々が社會で共同 生活をするためには、精神的な「より どころ」と言ふものを必要とする。

例えば煙草耕作者はこの收納所を據 點として、或る安定感を持つ様になり 煙草作が向上發展して行く最も大きな 素因となるを考へる。

之と同様に役場は我々村民の心のよ りどころであるし、行政の中心である その役場が昨年十一月不慮の火災で燒 失した。誠に悲しむべき事であつた。

その失火の原因は、司直の手で調査さ れなければならぬ。又今後 公共建物の保護という點には、細心の 注意が必要である。 當時我々としては、第一に役場が燒

若し我等の先輩が村有林の造成に著 眼されなかつたならば如何でしょう か、六千七百の村民の肩に之等の負擔 は直接かゝつてくるのであります。 之を考へる時我村の大先輩小牧昌平 氏の功績を追想せざるを得ません。 尙本役場燒失に際し村内外より精神的 に或は物質的に協力や御見舞を蒙りし 、深謝の至りに堪えません。

本日の落成式に際し、先輩有志並び に、村内外の皆さんに對し、深甚の謝 意を表するものであります。

を設置して研究に乗り出した次第で する。前にも述べた通り役場は村民生活 の據點であり、村長の指導宜しきを得 て、適切な行政が行なわれるれば、村の 發展があり村民生活の向上があること は、今更言う迄もないことである。

田代村役場新築落成に當りて

高等學校主事 水 枝 谷 清 武

一村文化の核心をなす村役場が新築 され、全村舉げて慶祝の氣分に包まれ 茲に落成の式典をあげられる事はまご ころに喜ばしい限りであります。

新築落成の一に申しますが、起工 されるまでの當局の御心算、起工が ら今日までの御苦勞は、我々の想像 も及ばぬものが多かつた事存じます

以前に増した事務能率をあげ、しかも 村民に對してはいつも懇切鄭重に應對 されつゝ、すべての苦難を克服し、此の 大建築を完了された事に對しましては 深甚の感謝の意を捧げる次第でありま

成に至つた。立派に出来上つたことに 對して御同慶に耐えない。豫算の財源 については、起債と村有林に頼ること にし、金詰りの甚しい現在村民に直接 負擔はかけない事に決めた次第である 今日落成の日に當り、過去を省みて 一時は驚きの余り落膽したが、立派に 完成した廳舎を見上げる時に、我田代 村民の幸福が新しい役場を中心にして 敗戦後民主革命により生れ變つた日本 と同様に、新しい幸福の光を以て、照 り輝くであろう事を祈念する者である

成程役場新築のためには、村長の企 圖した行政計畫が一年は遅れたと思 われるのであるが、之は止むを得ない 事である。今後は産業五ヶ年計畫も 樹立され、農家經濟立直しの爲、本村 經濟産業の發展の爲適切な施策がなさ れる事を期待するものである。

我々議會議員としても、與えられた 責任を果すと共に、進んで當局と協力 し村民生活向上の爲に努力し度いと思 えている。落成に當り、新しい門出を 祝する共に、今後の發展を祈る次第 である。 二五、七、一八記

産業五ヶ年の計畫も樹立され、著々 實行に移されつつあるが、全般的向上 も或る計畫線上までは圖る事勿論必要 な事であるが重點的に一つのものを確 實に成功せしめ、しかもそれが後退す 事なく他のものへ力を移す事が極めて 大事な事である。

斯くして他に誇り得るものを増して 行く事になると思ふ。

之を完備させるには相當な努力がい る知識技能を高める見聞を廣める事が 肝要である。井の中の蛙であつてはな らぬ。特に青年の奮起を望む、義務教 育を終えた青年は進んで村中一人残ら ず高等學校の教育を受け他町村の青年 に誇り得る知識技能を身につけて、我 が田代村向上發展の爲に盡せられん事 を此の目出度い式典に當り希望致しま す。

落成を祝う

田代中學校長 名ヶ迫 廣

昨年十一月、あの思いもかけない火 災によつて役場公會堂が一夜にして灰 塵となつてからこゝに九月、早くも 議事堂役場附屬建物一切が復興の工が 終え完成の日を迎えた事は嬉しい限り であります。堅牢優美、輪奐の美成つ た新しい建物を仰いで欣喜の情湧くこゝ 同時に議會、村當局其他事に當られ た關係者の辛勞苦心に對して感謝の念 を禁ずることが出来ません。

村自治の根本は村民の幸福の爲に議 會はその方向を定め方策を研究し議決 し役場は執行機關として綿密周到な計 畫の下に議會を傾けて實際の經營に當 り村民は十分の理解と納得の上でこれ に協力する事であると思ひます。こゝ の事なくしては村の發展も村民の一人 一人の幸福も決して得られるものでは ない存じます。議會と役場と村民の 三位一体の本物が役場であります。

村全體を人體にたとへるに議會は頭 役場は神経系、循環系、消化系、私達 村民は手足と言ふことになりましよう

村運營の中心であり、神経系であり消 化器循環器である役場は、それ故にこゝ に立派なものを造つても「立派過ぎ る」と言ふことはない筈であります

私はここに立派な議事堂役場の竣工し た事を心から祝賀する共に、之を機 として村全體が愈々融和一致互に扶 け合い勵まし合つて、平和な村、生々

ミ發展する村會幸福な村の建設を深く 祈念し且つ信するものであります。

役場建築事業經過

昭和二十四年十一月四日

突如不慮の火災により役場、公会堂、郵便局、森林組合、民家一棟を焼失

同年十一月五日

緊急臨時村議事を招集して、役場を旧代村小學校講堂に移轉することを決議するに共に、役場復興建築委員八名選任、速やかに復舊対策を講ずる事となつた。委員は左記の通り

柴立芳文、日高正、原順、鈴木十四郎、別府徳之丞、鶴岡喜助、栗脇辰吉、上原誠二

委員長 鈴木十四郎

同年十一月八日

委員会を招集、早急に復舊に着手する事を決議し、その下準備として模範廳舎の見學に行く事を定め、予定を十一月十六日より二泊三日にて指宿方面へ行く事に決定。

同年十一月九日

村長、南園吏員地方事務所經由、火災報告及建築財源等について陳情の爲縣廳へ出張

同年十一月十六日

建築委員、村長、南園吏員、廳舎見學へ出張、山川町、指宿町、谷山町役場廳舎を視察、縣當局へ再度陳情

同年十一月二十二日

駐在員會に於て、現在迄の經過、今後の計畫を發表

同年十一月二十五日

祝迫政吉氏の來村を願い、設計を委託する

同年十二月一日

村長、南園吏員財源問題陳情のため出席

同年十二月十三日

村議事を招集、建築の件を議決

同年十二月十九日

祝迫氏より設計書到着

同年十二月二十三日

南園吏員建築許可申請の爲出席

建築許可さる

同年十二月二十八日

役場入札、根占町松田組へ百二十万円にて落札

昭和二十五年一月五日

木材は特殊材を除き本村より提供することとして、根占町松田組と契約。尚田代村川原平石製材所と先に處分した字長野村有林杉賣拂代金として製品を役場材として納入する事に契約を結ぶ

同年一月二十八日

平石製材より天候の都合により、木材搬出期限延期願の提出あり、建築委員会を開催審議の結果、一應請負者の松田組と協議の上決定することになった

同年二月五日

松田組と協議の結果、事情已むを得ない認め松田組と了解の上、搬出期限の延期を認めた

同年二月二十三日

午後三時より地鎮祭を行う。本日より工事着手、工事者指宿町下柳田善四郎

同年三月二十日

設計者祝迫政吉氏來村中間検査實施

同年四月三日

金庫庫の發注、代價十一万円

同年四月七日

本館迄全部上棟、役場材納入について委員長、助役等平石製材所と交渉

同年四月九日

立具工事着手、役場材について村長、委員長再度催促

同年五月一日

屋根瓦工事着手、本村長谷幸吉氏、星根佐官工事着手、工事者鹿兒島市木場組

同年五月十日

星根瓦工事をなしつゝあつたが、瓦著しく不良により一時工事を中止し代替品を購入する様要請

大工工事全部完了、松田組へ引渡しをなす	同年六月十四日
祝迫氏中間検査の爲來村、不良箇所を修正をなすしむ	
村議事に於いて門、玄関等の改修工事について検討、施工法等について協議	
同年六月三十日	
建築委員会招集、正門工事につき協議、工事者として本村鶴岡喜藏氏指名	
同年七月二日	
正門改修工事につき鶴岡氏と契約工事着手	
同年七月五日	
ペンキ塗装工事完了	
同年七月十日	
全工事殊んき完了、設計者請負者に對して竣工検査通知	
同年七月十日	
竣工検査實施、設計者祝迫氏の検査により便所、壁等一部の手直しを要する部分の修理完了後完全引取をするに決定	
同年七月十七日	
手直し完了により引受移轉をなす	
總坪數 一三四七五坪	
本館 七二坪	
議事室 三六坪	
宿直室 二〇坪	
ロカ 六、七五坪	
役場建築所要經費	
總工事費 一、九六九、七二圓	
建築工事請負金 一、二〇〇、〇〇〇	
右増工事分 一〇、〇〇〇	
木材代 五四三、七〇一	
金庫庫代 一〇、〇〇〇	
設計及監督代 六〇、〇〇〇	
正門工事費 一七、〇〇〇	
整地費 八、〇〇〇	
電灯取付費 一七、〇〇〇	
電柱移轉費 四、〇〇〇	
右財源 七〇〇、〇〇〇	
村債 一、一一一、七〇一	
財產管理代 五四三、七〇一	
木材代 五八八、〇〇〇	
樟木代 一五八、〇〇〇	
一般歳入 一五八、〇〇〇	
田代村役場沿革	
明治三十五年	
大根田にあつた舊藩時代の粗末な建	

物を字中原(現小學校西南隅)に移して村役場廳舎とした。

大正二年六月

廳舎老朽甚しき爲新築の必要に迫られ四五坪五合の廳舎を新築之に前後して議事室も新築した。

昭和六年四月

小學校兒童の増加に伴い、運動場が狹隘を告ぐるに到つたので、字原ノ前(現役場位置)に移轉した。

昭和七年二月

村民の會合、議會等に使用する建物の必要が痛感され、總坪數四十八坪五合、一部は二階建の公會堂が新築された。

昭和二十四年五月

終戦後地方自治の根本的改革に伴う地方自治行政の強化、擴充により行政事務に多數の人員を要する様になり廳舎が狹隘となつた爲、九万圓の工費を以て十坪の増築をなした。

昭和二十五年七月

新廳舎竣工

火災見舞並びに

物品寄贈者芳名

二、〇〇〇圓 鹿兒島縣

信用販賣購買生 肝屬支所

産利用農協組合 和田組

株式會社 根占町

根占町 松田組

根占町 婦人會

官行山 根占高等學校

大根占町役場職員組合

根占町 平瀬回送店

官行山 青年團

猪鹿倉部落

男子青年團

女子青年團

同 婦人會

同 婦人會

同 連合青年團

根占町 肝屬郡町村會

根占町 農業協同組合

佐多町

大根占町

東中郡部落

吾平町

新組

指宿町

一、五〇〇

二、〇〇〇

三、〇〇〇

鶴岡婦人會

大根占町 花牟禮信吉

東大原青年團

内ノ牧婦人會

岩崎婦人會

西大原婦人會

東大原婦人會

鹿屋市

表木婦人會

村連合青年團

平石女子青年團

上柴立婦人會

柴立婦人會

山ノ口婦人會

鶴岡女子青年團

男子青年團

大根田女子青年團

上部青年團

橋口女子青年團

婦人會

平石婦人會

中村婦人會

新田婦人會

山下部落

牛根村

郷原男女青年團

早瀬男女青年團

池野婦人會

邊志切婦人會

田代村民生委員一同

長谷婦人會

大隅新報社

内ノ浦町

烏淵婦人會

大根占町

普通椅子

參個

九テーブル

壹個

家庭藥

六箱

洋紙

一ペ

文具

應接台

壹個

卓子

壹個

椅子

壹個

黒板

壹個

花台

田代村役場

村長 上田 政吉

助役 湯ノ谷米吉

収入役 西川 市藏

外職員一同

田代村議會

議長 柴立 芳文

副議長 日高 正

外職員一同

田代村農業協同組合

組合長 柴立 芳文

外役職員一同

根占高等學校

分校

田代分校

主事 水枝谷 清武

外職員一同

田代中學校

校長 名ヶ迫 廣

外職員一同

田代小學校

校長 山元 智

外職員一同

大原小學校

校長 高野 壽吉

外職員一同

祝

田代村役場並に

議事堂落成

祝

新廳舎の落成を祝して

田代郵便局長 篠原 亮

新築なつた村役場の美しい建物を眼に見ます時、長い間暇の事務所であり、不自由をされた職員の方々の喜びは如何ばかりかと思ひ、こゝに心から御同慶の意を表しますと共に、いさゝか感想の一端を申述べさせて戴きたいと存じます。

およそ事は必ず起るべくして起る言われてゐる通り、去年のいまわしいあの大火は、決して偶発的に起つたものではなく、終戦後のあらゆる悪い風潮が積り積つて、結局あの大火となつて激発したものであると信じます。

その意味において、我等の村に於ける大火の起つたことを、私は非常に残念に存じます。

PTAの充實を望む

田代小學校長 山 元 智

お互が一村民として、夫々の立場に於て他と協力しつゝ、己の本務を完遂する事に依つてのみ我々の村はより住みよい、より幸福で平和な希望に充ちた樂土と化するものであります。茲に近代建築を誇る村政の殿堂、役場が竣工するに當り共に喜びを分かち合ひ、親しみ深い行き易い我等の役場を中心として愈々結束を固くして、村政の発展に寄與する事を誓うものであります。

私は此の機会に次の事を提案して、村民各位の御批判を仰ぎ御指導をお願いする次第であります。

此の環境浄化の具體策を講ずる事になりませんが、その一手段としてPTAの充實を強調したいのであります。PTA本来の使命は児童生徒の幸福増進の爲の施策研究を積む事にあるし、尙教師父兄相互の教養を向上し、社會改良運動に挺身する事であると思ひます。單に子供自體の教育をさうするからという事に限らず之を發展して互に父兄としての生活を反省し現在の働き方によいか今のまゝの考え方でよいのか等といった様な具體的實際的問題に達着し、之を工夫改善する事によつてお互の仕合せを増しそれが全體に關連し結局より住みよい村作り運動へ發展する事になると思ひます。今こそすべての人を動員してPTAの充實發展へ力をこめ入る時ではないでしょうか。子供に任せれば即ち父兄の仕合せであり、村全體の仕合せであると思ひます。PTAの充實によつてこそ、ほんごに社會の淨化も出來、子供の教育も充實發展するものだと思ひて居る次第であります。皆様の御批判を仰ぎ御指導を賜りたい次第であります。

役場新築成りて

正面から這入つて門の中を廣く門を低くした事は舊來の威厳とした門構と比較して如何にも開放的で民主化された感じがする。正面から見た廳舎は十年一日の如く本村の建物とは違ふが、思へない雄大で發刺した姿は田代村の今後の發展を約束したかの感じがしてならない。左關を開けば廣々とした

に努力すべき秋だと思ふ。村政は勿論各種團體各個人共に自主的に事を反省し考慮し劃策すべきで徒らに論議の秋ではない。青年團にせよ婦人會にせよPTAにせよ、現在の歩みでよいから一歩踏み止つて沈思熟慮する必要はない。重成知事は度々來村され本村青年團に對しては折紙をつけられて各方面で引例されて居るが其の後の青年團の歩みは遅々として進まぬ如く思はれる。村治の發展は人物の輩出にまたねばならぬ。學制改革によつて六三制は實施された、既に中學校も建築され今又木の香新しい役場の政堂がなつた。更に田代高校も本年四月より分校に昇格年々最良の成績を挙げつゝある事は、慶びに耐えない。尙本年度は中原中學校の新築も豫算に計上されてあるが村の

先輩故老をしのぶ

望村民の奮起

小牧昌平翁曰く「資産は兒孫に教養を施し祖先の靈氣を残す爲のみ敢て美田を買ふべからず」と言つて常に兒孫の教育に對しては個性の伸展を第一義とし、禮儀を尊重せしめることが緊切だと言つておられるが、

明治十三年戸長に選ばれて以來前後四十数年村長に舉げられ、郷土田代の開發に貢獻され殖産興業に對し劃策盡すいされたのであるが、特に村有林の設定増加に對しては、氏の卓越せる見識によつて村治永遠の計を樹て万難を排して基金の造成に意を用ひられたのであつた。長野村有林購入の議會では

役場新築にせよ全く氏の恩恵であり又先輩故老の残された恩恵である事を忘れてはならない。役場建築材料調査の爲に現在議員一同と共に長野村有林に足を運び老木の下に汗を拭きながら見上げると大木に小牧昌平翁を思ひ幾多先輩故老の在りしを追憶して一同感謝感激の一瞬を味つたのであつた。昌平翁の「資産は兒孫に教養を施し祖先の靈氣を残す云々」は奈邊に氏の志の存するかを十分察知されるのであつた。

敗戦後の我が郷土田代も思想的に經濟的に政治的に幾多の難關が多い、之を徐々に解決し本當に明るく清い文化の香の高い田代の建設は誰の務めであらうか、御互に胸に手を當てて考へてみたい。今や先人の恩恵感謝と共に堅忍不拔の意志奮起し郷土田代の再建

財政關係からして着工に至らないが、再三再四補助問題の陳情も行い解決の運びに進みつゝある状態であり着工の日も近きに迫つて居る。更に田代高校の建築移轉の問題もあり次から次に幾多の教育問題があるが、何と言つても村發展の基礎は教育にある事を思ひます。時、學校當局PTA一致協力青少年の志氣を興し社會教育の實を挙げ度い。成人學級、婦人學級青年學級、等持設して共に研究修養の機を多くし度い。之には青年團婦人會等の運営機構の改革も必然起つてくる事であるが、努めて郷土愛の善風を興する事に努めて、成案なれる本村産業五ヶ年計劃案の實現も容易に出來得ると思ふ。先人の恩恵追憶と共に郷土田代の向上發展に一路つき進み度い

祝 田代村役場並に議事堂落成

田代村森林組合

組合長 小牧 昌男

外職員一同

田代村煙草組合

組合長 上田 政吉

外職員一同

田代村農地委員會

委員長 原 弘

外職員一同

農業調整委員會

委員長 原 弘

外職員一同

田代村選舉管理委員會

委員長 岩下 峻

外職員一同

松田組

松田 敬

平石製材所

平石 貞三

落成に當つて

測り知れない程の犠牲、村民の汗と脂の結晶で役場は新装をこらして竣工した。中に勤めさせて載く一人として此の際せめて心の脱皮新装をして新廳舎に恥ぢないやうに記念願し駄馬に鞭打ばかり、再建日本の息吹きを村の様に相を考へ合せ新廳舎の落成に當つて一方ならぬ感激と共に余りにも責任の重大さを痛感する。

(新名吏員)

自治行政の根本的改革を相伴つて廳舎の落成!! 近代的建築を誇る村政の堂々たる殿堂!! プンミ鼻をつく眞新しい木の香り ガラス一枚破れていない明るい窓!! あゝついに落成しました。

植産興業に貢献せられし祖先の功業苦難の中に秘められた皆様方のかずかずの御協力、御努力、責任は余りにも重い、感謝を込めて奮奮心氣一轉、そして駄馬に鞭打ち、わが郷土發展へ全力を盡そう。

新装成れる殿堂に恥ぢざる如く、

建設の息吹

(南國吏員)

建設の息吹 田代中豊年 柴立ヨミ子 友ミ手を取り合つて走りつづけた此の道

然し―昔日の面影は既になかった。悪魔に荒された悲惨な姿よ―私は顔を見合せて涙ぐんだ

ため息をいくつも残して―そして力なく我家へ歸つたあの日

明暮續いた建設の鐘音は―

あの日の悪夢を清算して 今此の道に美しい殿堂を築いた 力強く私達を見下している此の姿 革新の息吹が力強く私達に迫る そうだ、此の道にめざましい旧代の發展があるのだ。

此の道に立つて私は 大きな使命が感ぜられてならない

幾度轉んでも倒れても―

私達は必ず立ち上つて行くのだ 此の道を― 友ミ顔見合せてニコリ笑つた

田代中豊年 小牧 三保

夏雲は青空高くなびいている 役場の木のかおりをのせて行く もはや思ふ建設に 文化の進歩はまつている

文化と共に「社會と共に」 あたゝかき村民、この手ではけい社會の苦難の中から 作りあげた今日落成

田代中豊年 押領司榮徳

祖先のおかげ新役場 まぶしい白塗りの明るい窓 そよ木葉の葉にみぎりの林 青いたんぽに旧代はのびる

田代中豊年 倉元幸一郎

思えばうかぶ古い役場 あのまきあつた大火事も いつしか夢さなりにけり

村民の力の偉大さよ つゆばれ空に堂々

たちたる役場の美しさ 今朝の光にかがやきて

祝えよ我がこの役場 あゝうれしい今日の落成

田代中豊年 川邊 愛子

焼失のあとも残さず みごころに出来た村役場

村民の熱望が今實を結んだのだ そうだこの廣大を誇る役場も

村人の熱心協力が 汗ミ共にからみあつて

今こそ新築の明るい役場で 輝く村政だ!!

三年 水流キリ子

新しい役場 明るい窓 外はすばらしい夏風が吹いている あゝ今日は楽しい落成式

新しい役場 明るい氣持 よき人達で 良き政治を

ぐんぐん延び行く我が郷土

二年 小牧 唯憲

村民のためめ努力を結び 今日ぞうれしき落成の式

三年 柳田チリ子

やけあまにきれいにかがやく白い窓 木の香も高し今日の落成

二二 川前浩二郎

まばゆいばかりのこの役場 喜びはほくら心の心に充ちている

今日も朝日に光っている 見に行つてみる三松田組の

釘打つ音もさかちさ

も早いつばになつて ざこからさもなく喜びの

聲が僕等にさゝやいた みんなで守ろうこの役場

三二 竹ノ内哲哉

焼け跡の地ならし 大工の打ちおろす金槌のひびき

僕等の教室迄聞える 僕等は工事現場を

見ているよ― 見ていたよ―

むね上げて板を打つ 大工さんの打ちおろす金槌にも

眞の力がこもつていた― 今ぞ出来た村役場

晴れの落成も

今はほき近い―

二二 市來 正光

みるくうちに立つ役場 ベンキの光る 美しさ

二二 萩田ムツ子

夏の空高くそびゆる新役場

夕焼に染まりし役場の美しさ

三三 倉元幸一郎

役場の落成と村の發展

田代中豊年 西川 信夫

昨年の秋、稲も實りおゝかたこり入

れも終つた頃、私たちの村に思いがけ

ない出来事がありました。村の政治の

最高機關とも云ふべき役場の焼失でし

た、全く悲しいことでした。それ以來

約半年以上も役場の務めの人、或いは

村民全部が大變不自由をして参りました。

その當時村民の間にも村の財政も

金づまりのため大變な財政困難の中に

ありました。

それにもかかわらず今私たちが勉強

している中學校の建築にさかちさ

して、年の初めまではりつばな校舎が

完成出来ました。私たちの村にさつて

この上もなく喜ばしいことでした。校

舎の建築にも困難を見たのに、前より

もまして金づまりの中にありながらも

今私たちが見る役場及び議事堂が出

来ました。

では私たちの村が他の町村よりまさる

程度まで盡したいと思ひます。

田代村が程度が低い云々原因は色

々な説があるでしょう。村民の間に教

養がないとか、村の政治が思わしくな

いとか、外多く上げられるでしょう。

だが今云つた教養が低いとか政治が悪

いとかの原因はさきにあるか、私たち

の村に大きな問題があることに氣づき

ます。しかしそれらの原因を一つ一つ

ける方法よりも、もつて發展への近道

があると思ひます。それは村民の協力

です。中學校や役場議事堂が村民の力

で建つたように、村民の一人々々協力

心構えでもつて程度の高い村、云い換

えるは村の發展を見るこゝが出来ると

ではないでしょうか。

うれしい落成式

田代中豊年 前之園幸一郎

忘れもしない去年の十一月四日の夜

その夜いらい田代村は一變したのだ起

きて見る三人のいりみだれて歩く足音

ざわめきの聲、僕は寝まきのまゝ家を

さびだした。現場に行つて見る、公

会堂は火に包まれて、今にも屋根が

おちて来ないばかりである。僕はは

て立つてもいられず役場の中につけ

こみ手あたりしだい書類をかゝて鳥

居の下に運んだ。三度目に行つた時は

消防團の人があぶないからくるな注

意された。公会堂は屋根も燃え落ち今

度は役場の方へ火はさきさきひろが

つて行く、僕は、あつてに取られて

たどほかんさ見ていただけである。役

場が半分ぐらゐ燃え落ちた頃、大根占

根占の消防車が来た、その時のみんな

の顔にはやつと安心の色がかんだ。

それから半時間ぐらゐかかつて、やつ

と火をきやす事が出来た。燃えた時間

は三時間ぐらゐだったが、三時間ぐらゐ

の間に、あの大きな建物が灰に化し

たのだ。見るも無慚なこの場面を田代

村民は、みんな心持で見たであらうか

その翌日から田代村役場は何も設置

もない講堂のせまきしい所で事務を取

る様になつた。火事の事なんか村民の

頭からきえうせた頃、火事の面影をの

こしていた舊役場の後に今度松田組の

請負で四ヶ町村には見られぬ様な役場

が完成した。今度の役場は衛生上又便利

の上から見ても適當である。火事の夜

の村民の落膽。だがあれも永久の思出

なるであらう。今田代村民は前頭明

るくして田代村の發展を祈りながら落

成式を日まにひかえている。わいわ

公民の權利と義務

―町村の役場と議會より―

町村議會の議員も

私たち町村民の手で選ぶのです

選舉を通じて私たちの聲を

町村の政治の上に反映するので

お互の費用と意見によつて

みんなを治めていくことが

自治體の本當の 姿なのです。

歴代村長

初代 前田 勇七

二代 (明治三二、一三三年)

日高 常介

三代 (一三、一五年)

小牧 正平

四代 (一六、一九年)

小牧 宗一

五代 (三〇、三三年)

谷元 矢一

六代 (三三、三三年)

小牧 正平

七代 (三三、四一年)

日高 喜一

八代 (四一、昭和一〇年)

岩下 清宗

九代 (昭和一一、二二年)

上田 政吉

(一二年現在)



發行所 遠見島縣肝局郡

本村の農業を阻害してゐる。氣

温が低い爲に各作物の生育期間が

長く植付は早く、收穫は遅い爲に

本村林政の向ふ所